



東京都立上水高校 ～特色ある教育活動～ ＊学校設定教科「表現」＊

2年次の必修科目として、
12種類の表現科目を展開しています。

バラエティーに富んだ科目の中から、自分の興味に
合ったものを1つ選択し、1年間を通して学びます。
専門性を極めた講師から表現の楽しさ、技術を学び、
表現力を磨いていきます。

3月には表現発表会を行い、成果を発表しあいます。

※開講する科目は検討により変更されることがあります。

表現の各講師の先生方からのメッセージです。

- ①アナウンス ②アニメ表現 ③異文化交流
- ④映像制作 ⑤演劇 ⑥手話表現 ⑦合唱 ⑧武道
- ⑨マルチメディア表現 ⑩朗読 ⑪舞踊 ⑫和楽器演奏

①

アナウンス

Announcing Course



年間を通して発声、滑舌、早口言葉、ニュースや天気予報の読み方を練習します。その上で、インタビュー、ナレーション、ラジオDJ、時間を意識したスピーチ、ディベート、プレゼンテーション等を学びます。年度末の表現発表会では、全校生徒・先生・保護者の前で堂々と司会進行に挑戦します。人の心に響く、伝わる話し方を学ぶことは個性を伸ばし、表現力を鍛え、将来に結びつく自信に繋がるはずです。楽しくアナウンスを学んでみませんか。

②

アニメ表現

Anime Expression Course

まずはアニメーションの基本である、動きや表情の変化のつけ方について学びます。その後はそれぞれのペースでオリジナルアニメの制作をしていきます。自由な発想で楽しみながら、アニメ制作の技術を身につけられます。

③

異文化交流

Cross-cultural exchange
Course



世界の国々の文化と日本との差異を知り、改めて日本、日本人を見つめ直すことを目標にしています。普段は教室で世界の各地域の文化について学んでいますが、オンラインで外国人にインタビューをしたり、さまざまな形で異文化を体感することを大切にし、楽しみながら学習しています。

④

映像制作

Video Production Course



企画立案から撮影・編集・簡単な特殊効果・完成まで、映像制作の基本的な技術を楽しみながら身に付けられます。課題は自由企画と学校紹介。高校生ならではのユニークな発想で既成概念に捉われずに作ってもらいます。総合芸術である映像作品をチームで完成させることを通して、各自の役割分担やチームワークの大切さも学んでもらいたいと思います。

⑤

演劇

Drama Course



初めての人に会うと緊張してしまう。大勢の人の前に立つとドキドキする。声が小さい、もっとはっきり、と言われる。自己を表現するってなかなか難しいですね。

「演劇」の授業では、しっかりした声の出し方（発声）や滑舌、想像力を活かしたシアターゲームやエチュード（即興劇）を通して、毎回楽しく進めてゆきます。そして三月の発表会に向け、みんなで力を合わせ、一本の芝居を創り上げてゆきます。

⑥

手話表現

Sign Language Expression Course



講師はネイティブサイナー（日本手話を母語とする人＝ろう者）です。講師とのコミュニケーションを通じて日本手話の基礎を学びます。日本手話は手の動きだけでなく、顔の表情、身体の向きなども言葉としての意味があります。英語、中国語などと同じように、独自の言語体系と文法を持っています。また、ろう者を取り巻く社会や文化も学びます。手話を体験して将来の可能性を広げましょう！

7

合唱

Chorus Course



年間を通して様々なジャンルの曲の合唱をしています。日本語の合唱曲はもちろん、アカペラの曲やJPOP、外国語の曲も歌っています。姿勢・発声・呼吸法に気を付け、より良い合唱づくりをしています。人の声によって音が重なる楽しさや美しさを学び、全員で一つの音楽をつくる喜びを味わい、表現力を高めています。

8

武道

Martial Arts Course



居合道（いあいどう）は約四百年前の戦国時代に武士が実戦に役立てるために生まれた日本の伝統的な武道です。刀を抜き放つ一連の動作を通じて正しい姿勢、集中力、礼節を重んじる心を養います。本校の授業では日本の伝統文化としての居合道を学びながら基本的な刀の使い方や動作を身につけていきます。形（かた）のけいこを通して相手を思いやる心、自分自身を律する態度、静と動の緩急強弱の体現などを大切に指導しています。

武道を通じて現代社会においても役立つ礼儀作法や集中力を育み生徒一人ひとりが落ち着いて自分自身と物事に向き合える姿勢を養うことを目標としています。

⑨

マルチメディア表現

Multimedia Expression Course



パソコンを使って様々な作品作りをする講座です。講座を担当している先生や受講生に対するインタビューや活動風景を動画で撮影し、編集します。その動画をQRコードで見られるようにした各表現講座紹介ポスター作り、そして企画・撮影・編集までグループで協力しながら作成していくドキュメンタリー映像作品作りを行っています。同じ講座を取っている仲間と協力して1つのものを作り上げていく楽しさや達成感を味わってみたいと思っています。

⑩

朗読

Reading Aloud Course



朗読とは、なんだと思われますか？「読むこと・伝えること」はもちろんそうですが、朗読とは自分のためではなく聞いてくれる人のために声にするものだと思います。上手に読むのではなく伝える努力が必要なのです。自分よがりの読み方では人の心を揺さぶることはできません。朗読を通じて、他の人にどうしたらわかってもらえるか、人の気持ちになって考えることを自然に学んでもらえると嬉しいと思っています。素敵なものがたりに出会い、人生楽しく過ごせるといいですね。

11

舞踊

Dance Course



うまく踊ることではなく、音楽に合わせて体を動かし、踊りで気持ちを表現する楽しさを体験することを目標にしています。ですので、全くの初心者でも大歓迎です。年度末の表現発表会では、みんなで協力し合いながら踊りこんだ作品を発表しています。普段の生活では見られないひとりひとりの魅力を垣間見ることができます。この経験で、生徒たちの世界が少し広がったら嬉しいです。

12

和楽器演奏

Traditional Japanese
Musical Instrument
Performance Course



箏の基礎知識や礼儀作法を学ぶ所から始め、前期は基本となる多数の練習曲、後期は発表会の為の合奏曲の練習をし、年度末の表現発表会で成果の発表をしています。他校では、箏を学ぶ機会があっても50分程度の授業内で少し“体験”をするだけで、実際には学べたとは言えない授業があります。上水高校では、授業内にプロの和楽器奏者を招き、生徒達が演奏を聴く機会もあります。演奏時の立ち居振る舞いや他人の音を聴きながら演奏するとはどういうことか等も、聴いて、見て、学ぶ機会としています。

「表現」は、
どのような授業なのでしょう？

生徒に聞いてみました！

普通の高校では体験できないことを学べる。
プロに教わることができる。
たくさんの分野の中から選べる。

楽しい！

「武道」

実際にある流派に沿って刀を振ることができる授業。
難易度が低く、先生はすごい実力者。あと超優しい。
時間があればほかの流派もやったりするのでおすすめ。

普段できないことができる。
自分自身と向き合える時間が作れる。

「マルチメディア表現」
デジタル化が急速に浸透している現在、
情報を学ぶことは大切であり、
非常に身近であるから好む。

日頃体験できないことを体験できる。
タイピング練習など、社会に出て役に立つことをできる。

「舞踊」

ロックとかヒップホップというよりはバレエ・ジャズ寄りのきれいめなダンスを習う授業です。
部活決めるときにギリギリまでダンス部に入るか迷っていたので、高校でちゃんと踊る機会が
できてとても楽しいです。憂鬱だった月曜日が楽しみになりました。

舞踊では、1年間ジャズダンスを踊っています。外部の先生がひとつずつ優しく丁寧に教えて
くださるので、初心者も経験者もどちらも楽しんで、自分らしく表現できるのが魅力的です。

**「表現」は、
どのような授業なのでしょう？**

生徒に聞いてみました！

「異文化交流」

日本ではなく、海外の学校の生徒と交流
することで自分たちとの意見や考え方の
違いを発見することができて面白い！

JETのミシェルとジェイコブと一緒に
学べる！

他の学校にはない授業で、様々な
種類のことができるから好きです。
新しい発見ができます！

自分で選んで授業を受けられるのは
上水の強み

「演劇」

発声や表現の方法などを分かりやすく教えてもらえる。
体を動かすことがメイン。

少人数（演劇の場合は十数人）のため、同じ科目の人との仲が深まる。

「手話表現」

ほとんどの人が人生初めての手話です。
簡単なことから少し難しい文法を使って、
今思ってることや相手に伝えたい気持ちを表現するのが
すごく楽しい。

「合唱」

2時間があったという間に感じます。

パートごとに練習するのが楽しい！